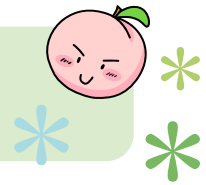


節分のお話（中）



みなさん、こんにちは。今日は、節分のお話です。

節分には「季節を分ける」という意味があります。そのため、冬と春を分ける日を「節分」としました。節分に、いり豆を年の数や年にひとつ足した数を食べると、1年を元気に過ごすことができるといわれています。また、病気や災いなどの悪いものは、鬼に例えられているので、豆まきをしたり、^{ひいらぎ} 柊の枝に焼いたいわしの頭をさした「やいかがし」を家の入口に挿^さして、鬼を追いはらいます。

春日井市では「おとしこし」という郷土料理があります。冬にとれる大根やさといも、にんじんなどの旬の食材を使った煮物で、昔から家族そろって節分の日に食べられてきました。昔は1年の始まりが節分だったので、「年をこす」という意味から「おとしこし」とよばれるようになりました。

今日の給食は、節分にちなんだ献立です。みなさんも1年の無事を願いながら、よくかんで味わいましょう。